

University Mobility in Asia and the Pacific

アジア太平洋大学交流機構 (UMAP)

Contents

I

UMAP (アジア太平洋大学交流機構) の概要 … 1

- 1 UMAPの概要 … 1
- 2 UMAPの歩み … 2-3
- 3 UMAPの組織 … 4-6

II

UMAP参加対象国・地域 … 7

III

UMAP日本国内委員会 … 8

IV

UMAP Constitution (UMAP憲章) … 9-15

V

UMAP事業 … 16

- 1 UCTS (UMAP単位互換方式) の普及 … 16
- 2 UMAP参加大学 … 17-18
- 3 UMAP学生交流オンラインシステム (USCO) … 19
- 4 その他のプログラム … 19

I. UMAP (アジア太平洋大学交流機構) の概要



1. UMAPの概要

UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific)

は、高等教育分野における政府、又は非政府の代表からなる任意団体であり、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的として、1991 (平成3) 年に発足した。1998 (平成10) 年8月、バンコクで開催された第6回総会において、UMAP憲章 (2001 (平成13) 年、2005 (平成17) 年、2013 (平成25) 年に一部改正) が採択された。

憲章では、UMAPの目的は、「アジア太平洋地域内の高等教育機関間の協力を推進するとともに、学生と教職員の交流を増やし、高等教育の質を高めることによって、域内諸国・諸地域の文化・経済・社会制度の理解をさらに深めることである」と規定されている。

また、UMAPの目標は以下のとおり定められている。

- ① 大学間交流促進の阻害要因を特定し、それを解決すること。
- ② 参加国・地域における二大学間、多大学間及びコンソーシアムによる交流を促進すること。
- ③ 単位認定及び互換のためのシステムを開発し、整備すること。

2. UMAPの歩み

和暦(西暦)	国際事務局	議長国	UMAPの動き
平成3年 (1991)			オーストラリア政府の協力のもと豪州大学長協会 (AVCC) は、日本・韓国・台湾・香港の大学関係者を招き、アジア太平洋地域の教育分野の協力について話し合うための会議 (1991年4月香港、同年9月キャンベラ) を開催。キャンベラの会議では、18の国と地域が出席し、これらの参加国が集う会議を総会とすることを決議。この 第1回総会 では、作業部会 (Working Party) の設置も決議。
平成4年 (1992)			第2回総会 が4月にソウルで開催され、日本からは有馬朗人国立大学協会長 (当時東京大学長) らが出席。
平成6年 (1994)			第4回総会 が12月に大阪府豊中市で開催され、この中で以後の総会は1年おきの開催とし、中間年に作業部会を開くことなどを決議。また、同年アジア太平洋経済協力会議 (APEC) はUMAPを支持すると表明。
平成8年 (1996)			第5回総会 が8月にオークランドで開催され、日本代表の井村裕夫国立大学協会副会長 (当時京都大学長) から、日本にUMAP国際事務局を置く提案が出され審議される。
平成9年 (1997)			11月にタイのピサヌロクで作業部会会合が開かれ、日豪共同で提出した国際事務局設置方針案を承認。この作業部会の席上、豪州政府から、かつて (1988 ~ 1995年) 欧州連合 (EU) がエラスムス計画の下に欧州単位互換システム (ECTS = European Credit Transfer System) の実験を行ったように、アジア太平洋地域においても1999 (平成11) 年の各国の学年度にUMAP単位互換スキーム (UCTS = UMAP Credit Transfer Scheme) の試行について提案があり、これを承認。
平成10年 (1998)	日本 '98.4-'06.2	タイ '98	4月に 先行UMAP国際事務局を東京大学駒場キャンパス内に設置 。 第6回総会 が8月にタイのバンコクで開催され、以下の項目を可決。 1) UMAP憲章の採択 2) UMAP国際事務局の設立 3) 国際事務局を包括する国際理事会の設置 4) UMAP単位互換スキームの試行
平成12年 (2000)		韓国 '99-'00	1月に神戸で開催された 国際理事会 において、日本から、アジア諸国等からの新規渡日私費留学生の修学を支援するための「UMAP留学生信託基金」の創設 (平成11 ~ 13年度に (財) 日本国際教育協会 (当時) に委託し、約26,000人に奨学一時金を支給) 及びアジア諸国等のリーダー養成を支援する「UMAPリーダーズ・プログラム」の開発 (平成13・14年度に東京外国語大学及び九州大学で実施) を提案し、承認。
平成13年 (2001)		オーストラリア '01-'02	3月にオーストラリアのビーチワースで開催された 第8回総会 において、UMAP憲章が改正され、UMAP国際理事会 (UMAP Board) を最高議決機関とすることに決定。 同総会において、日本から「UMAP短期留学推進制度信託基金」の創設 (平成13 ~ 15年度に (財) 日本国際教育協会 (当時) に委託し、奨学金支給事業を実施) が提案され、承認。
		マレーシア '03-'04	5月にUMAP国際事務局が東京大学駒場キャンパス内から、国際研究交流大学村内の (財) 日本国際教育協会 (現独立行政法人日本学生支援機構) 東京国際交流館 プラザ平成1F (東京都江東区青海) に移設。

和暦(西暦)	国際事務局	議長国	UMAPの動き
平成17年 (2005)		台湾 '05-'06	10月にUMAP日本国内委員会主催で、国際シンポジウム「国境を越える高等教育サービスと明日のUMAP－挑戦と課題－」を開催し、「東京宣言」を採択。
平成18年 (2006)	タイ '06.3-'10		UMAP国際事務局がタイに移転。
平成19年 (2007)		メキシコ '07-'08	10月に第1回UMAP副学長フォーラムをタイ、バンコクで開催。
平成20年 (2008)			UMAP域内における新たな学生交流の仕組みとしてUMAP Student Connection Online (USCO) を開始。 10月の国際理事会においてUMAP Joint Study Program及びUMAP Research-Netの実施を承認。
平成21年 (2009)		日本 '09-'10	日本がUMAP議長国 となり、広島大学の浅原利正学長が議長に就任。 3月に広島で開催された国際理事会において、UMAP Joint Study Program及びUMAP Research-Net採択プロジェクトが決定(以降年おきに実施)。
平成23年 (2011)	台湾 '11-'15	フィリピン '11-'12	UMAP国際事務局が台湾に移転。
平成24年 (2012)			1週間から1か月程度の短期プログラム参加学生に対するUMAP Super Short Term Program奨学金事業を開始。(2017年まで)
平成25年 (2013)		日本 '13-'14	新たなUMAP単位互換スキーム (UCTS) を導入。 日本がUMAP議長国 となり、大阪商業大学の谷岡一郎学長が議長に就任。
平成28年 (2016)	日本 '16-'20	マレーシア '15-'16	UMAP国際事務局が日本(東洋大学)に移転。 UMAP25周年記念シンポジウムを開催。 UMAP サマープログラムの開始。初回はフィリピンでUMAP Discovery Camp 2016を実施。
平成29年 (2017)		マレーシア '17-'18	UMAP Summer Program 2017を日本(東洋大学及び新潟大学)で実施。 8月にUMAP国際フォーラムを日本、東京(東洋大学)で開催。
平成30年 (2018)			UMAP Discovery Camp 2018をタイで実施。 9月にUMAP国際フォーラムを日本、大阪(大阪商業大学)で開催。 UMAP Student Connection Online (USCO) オンラインシステムを開発。
平成31・ 令和元年 (2019)		タイ '19-'20	UMAP Discovery Camp 2019を台湾で実施。 UMAP-COIL Joint Honors Program2019を実施。 UCTS User's Guide改訂版の公開。 1週間から1か月程度の短期プログラム参加学生に対するUMAP Super Short Term Program奨学金事業を再開。 11月にUMAP国際フォーラムをタイ、バンコクで開催。

3. UMAPの組織



(UMAPの参加資格及び参加経費について)

各国・地域及び行政区の政府・大学・関係機関等で構成される連合体が国内事務局 (National Secretariat) を設置し、UMAP国際事務局に拠出金を納入することにより、UMAPに正会員国として加盟する。正会員国はUMAP国際理事会を構成する。

正会員国の大学のうち、UMAP国際事務局と参加公約書を締結した大学は、UMAP交流事業に参加することができる。

日本では、国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会、文部科学省及び日本学生支援機構が協力・連携し、国内事務局としてUMAP日本国内委員会を設置し、UMAPの活動主体となり、拠出金を負担しているため、個々の参加大学による参加経費は必要としない。

歴代のUMAP議長 (職名は当時)

1998	Dr. Tong-In Wongsothorn (Deputy Permanent Secretary, Ministry of University Affairs, Thailand)
1999-2000	Dr. Hyun-Chong Lee (Secretary General, Korean Council for University Education, Korea)
2001-2002	Prof. Michael Osborne (Vice Chancellor and President, La Trobe University, Australia)
2003-2004	Prof. Dr. Abu Hassan Othman (Vice Chancellor, University Malaysia Sabah, Malaysia)
2005.1-2005.7	Dr. Wei-Jao Chen (President, National Taiwan University, Taiwan)
2005.8-2006	Dr. Si-Chen Lee (President, National Taiwan University, Taiwan)
2007-2008	M.C. Miguel Angel Aguayo Lopez (Rector, University of Colima, Mexico)
2009-2010	Dr. Toshimasa Asahara (President, Hiroshima University, Japan)
2011-2012	Dr. Patricia B. Licuanan (Chairperson) (Chairperson, Commission on Higher Education, Philippines)
	Dr. Belen Lorezca-Tangco (Co-Chair) (President, UMAP Philippine Council, Philippines)
2013-2014	Dr. Ichiro Tanioka (President, Osaka University of Commerce, Japan)
2015-2016	Prof. Datuk Dr. Noor Azlan Ghazali (Vice Chancellor, Universiti Kebangsaan Malaysia, Malaysia)
2017-2018	Prof. Datuk Dr. Noor Azlan Ghazali (Vice Chancellor, Universiti Kebangsaan Malaysia, Malaysia)
2019-2020	Dr. Sumate Yamnoon (Chairperson, Ministry of Higher Education, Science, Research and Innovation, Thailand)

UMAP Ambassadors

UMAPは、UMAP活動に顕著な貢献のあった各国関係者にUMAPアンバサダーの称号を授与し、その功績を称えている。2019年現在のUMAPアンバサダーは以下のとおり。

(職名は称号授与年当時)

2001	Dr. Tong-In Wongsothorn (Deputy Permanent Secretary, Ministry of University Affairs, Thailand)
2003	Mr. Bob Goddard (Assistant Secretary General, International Relations, Australian Vice-Chancellor's Committee, Australia)
2006	Dr. Mineo Nakajima (President, Akita International University, Japan)
2009	Prof. Akira Ninomiya (Vice-President, Hiroshima University, Japan)
2011	Dr. Sumate Yamnoon (Secretary-General, Office of the Higher Education Commission, Ministry of Higher Education, Thailand)
2016	Dr. Min-Ling Yang (Director General, Department of International and Cross-strait Education, Ministry of Education, Taiwan)

II. UMAP参加対象国・地域

2020(令和元)年1月現在のUMAP参加資格を有する国・地域は以下のとおり。

なお、UMAP国際事務局に拠出金を支払った国・地域は、正会員国としてUMAP国際理事会を構成することとなっている。赤字表記は、正会員国・地域。

対象国(ABC順)	: 国内事務局 (National Secretariat)
オーストラリア	: Curtin University
バングラデシュ	: University Grants Commission of Bangladesh (UGC)
ブルネイ	: Universiti Brunei Darussalam
カンボジア	: Royal University of Phnom Penh
カナダ	: The British Columbia Council for International Education (BCCIE)
チリ	: Universidad Católica del Maule
中国	: Sias University
エクアドル	:
フィジー諸島	:
グアム	:
香港	: Chinese University of Hong Kong/ University of Hong Kong
インド	:
インドネシア	: Institut Teknologi Sepuluh Nopember (ITS)
日本	: UMAP日本国内委員会 (UMAP Japan National Committee)
カザフスタン	: Karaganda Medical University
大韓民国	: Hanyang University
キルギス	: Institute of Japan Studies under Kyrgyz State University I. ARABAev
ラオス	: Sengsavanh Education Group
マカオ	: University of Macau
マレーシア	: Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM)
メキシコ	: Universidad de Colima
モンゴル	: Mongolian National Council for Education Accreditation(MNCEA)
ミャンマー	:
ニュージーランド	:
パプアニューギニア	:
ペルー	:
フィリピン	: Commission on Higher Education and Development (CHED)
レユニオン	:
ロシア	:
サモア	:
シンガポール	:
台湾	: Fu Jen Catholic University
タイ	: Ministry of Higher Education, Science, Research and Innovation
東チモール	:
アメリカ合衆国	: Western Washington University
ベトナム	: Vietnam National University, Hanoi (VNU)

Ⅲ. UMAP日本国内委員会

UMAP日本国内委員会は、国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会、文部科学省、日本学生支援機構の代表者によって構成され、UMAPの活動方針に基づき、日本とアジア太平洋域内諸国等との国際教育交流の推進を図っている。
(令和元年11月現在：敬称略・50音順)

UMAP日本国内委員会

委員：（委員長）	山崎 光悦	金沢大学長
（副委員長）	谷岡 一郎	大阪商業大学理事長・学長
	岩渕 明	岩手大学長
	岡田 公夫	横浜市立大学キャリア支援センター長
	弦間 正彦	早稲田大学理事
	佐野 輝	鹿児島大学長
	清水 一彦	山梨県立大学長
	周 航	北陸大学専務理事
	鈴木典比古	国際教養大学理事長・学長
	二宮 皓	広島大学名誉教授
	松永 賢誕	文部科学省高等教育局主任大学改革官
	吉野 利雄	日本学生支援機構留学生事業部長
	米川 英樹	日本学生支援機構理事
監事：	浅野 哲夫	北陸先端科学技術大学院大学長
	森田 嘉一	京都外国語大学理事長・総長

専門委員会

牛窪 潔	琉球大学理事・副学長
小幡 浩司	福井大学教授
呉 俐里	帝京大学総合教育センター専任講師
廣里 恭史	上智大学教授
広瀬 恵子	愛知県立大学教授
堀田 泰司	広島大学副理事
山崎 勇治	北九州市立大学名誉教授

ワーキンググループ

戸渡 速志	国立大学協会常務理事・事務局長
小形 徳応	国立大学協会企画部次長
中田 晃	公立大学協会事務局長
鳥山亜由美	公立大学協会事務局主任
小出 秀文	日本私立大学団体連合会事務局長
島田 直子	日本私立大学団体連合会事務主幹
引地 朋彦	日本学生支援機構国際渉外調整監 (UMAP日本国内委員会事務局長)

IV. UMAP Constitution (UMAP憲章)

ARTICLE I DEFINITIONS

1.1 The name of the organization is University Mobility in Asia and the Pacific (UMAP).

1.2 The organization is an association of government and non-government representatives of the higher education sector in Asia and the Pacific. The organization is responsible for enhancing cooperation among higher education institution (HEIs) in the region and increasing mobility of students and staff through UMAP exchange programs.

1.3 The UMAP Exchange Programs involve the development and implementation of university student and staff exchanges which are consistent with the UMAP principles listed in Attachment 1.

1.4 The governing authority of UMAP is the UMAP Board. The UMAP Board is composed of representatives from each of the Full Members of UMAP (see Article IV).

1.5 The UMAP International Secretariat administers UMAP (see Article V).

1.6 The UMAP National Secretariat is the chief point of contact in a member country/territory (see Article VI).

1.7 The UMAP organization structure is shown in Attachment 2.

ARTICLE II AIM, GOAL AND FUNCTIONS

2.1 The general aim of UMAP is to achieve a better understanding within each of the countries and territories in the Asia Pacific region of the cultural, economic and social systems of the other countries and territories in the region through enhanced cooperation among higher education institutions and increased mobility of university students and staff.

2.2 The goal of UMAP is to increase the exchange of university students and staff through cooperation among countries/territories of the Asia-Pacific Region.

2.3 The objectives of UMAP are:

(a) To identify and overcome impediments to university mobility.

(b) To promote bilateral, multilateral and consortium arrangements among universities of member countries/territories.

(c) To develop and maintain a system for recognition and transfer of credits.

2.4 To realize the aim and goals, UMAP will closely collaborate with universities of member countries/territories at their request, in joint projects, programs and activities on students and staff mobility.

ARTICLE III **MEMBERSHIP**

3.1 UMAP Membership is open to those countries/territories listed in Attachment 3.

Others may be added as eligible Member countries/territories by a majority vote of the UMAP Board.

3.2 There are two statuses of Membership: Full Member and Associate Member.

(a) Full Members are those eligible countries/territories that pay an annual contribution as assigned to them based on the formula set out in Attachment 4.

(b) Associate Members are any eligible countries/territories that wish to be associated with UMAP.

3.3 Full Members are expected to participate in the UMAP Board and UMAP Committee Meetings and are entitled to participate in UMAP Exchange Programs.

3.4 Associate Members may participate in the UMAP Board Meetings and UMAP Committee Meetings only as observers and cannot participate in UMAP Exchange Programs.

3.5 Any Full Member of UMAP may withdraw from UMAP by notice addressed to the UMAP International Secretariat.

3.6 Representation of each member country/territory is determined by that country/territory but must enable effective representation of the national higher education system. (Representation may be from the peak body of the universities, consortia of universities, individual universities, government or a combination of these. Individuals are not eligible to be UMAP Members.)

ARTICLE IV THE UMAP BOARD

4.1 The UMAP Board is composed of all Full Members.

4.2 The Board shall determine the policies and the main lines of work for the smooth and effective operation of UMAP.

4.3 The Board shall select the UMAP International Secretariat Host Country from proposals made by interested Full Members.

4.4 The Board shall oversee the UMAP International Secretariat.

4.5 The Board shall receive the reports of the UMAP International Secretariat and approve the program and budget of UMAP.

4.6 The Board shall review the Constitution biennially and has sole authority to amend the Constitution.

4.7 The Board shall set up special committees as appropriate. No special committee may exercise any authority other than that specifically outlined in the establishing resolution.

4.8 The Board shall elect a UMAP Chair from Full Members. The elected member shall nominate a chairperson and inform the UMAP International Secretariat.

(a) The Chairperson shall be responsible for convening and presiding over all meetings of the UMAP Board and the UMAP International Conference.

(b) The Chairperson shall host the Board Meeting once a year and UMAP International Conference once during the term of chairmanship.

(c) The costs for hosting UMAP Board Meetings and the UMAP International Conference will be borne by the Full Member country/territory hosting UMAP Chair.

(d) The term of the UMAP Chair shall be for two (2) years.

4.9 The Board shall meet at least twice a year, once in the country/territory hosting the UMAP Chair and, in principal, once in the country/territory hosting the UMAP International Secretariat. Other meetings of the UMAP Board shall be determined by the Board.

4.10 The presence of at least 50 per cent of the Full members is necessary for the Board to do business. Decisions shall be made by a quorum for the transaction of business. Each Full member shall have one vote. In the event of a failure to achieve consensus on an item at a Board meeting, a simple majority vote of the Full Members present shall determine the issue.

ARTICLE V THE INTERNATIONAL SECRETARIAT

5.1 The secretariat of the UMAP shall be called "The UMAP International Secretariat" (UMAP IS), hereinafter referred to as the "International Secretariat".

5.2 The member country/territory hosting the International Secretariat shall be selected by the Board. The term of hosting the International Secretariat shall be for five (5) years.

5.3 The costs of providing the basic infrastructure for the International Secretariat shall be borne by the Full Member country/territory hosting the International Secretariat and shall not be represented in the UMAP budget.

5.4 The UMAP International Secretariat shall be responsible for the management and administration of the day to day operations of UMAP and serve as the liaison with National Secretariats.

5.5 The member country/territory hosting the International Secretariat shall appoint a Secretary-General to the International Secretariat.

5.6 The Secretary-General shall prepare the agenda for the Board. The Secretary-General shall submit programs of work to the Board and corresponding budget estimates together with such recommendations as considered desirable.

5.7 The Secretary-General shall participate without the right to vote in all meetings of the Board, and of the Committees of UMAP.

5.8 The Secretary-General shall prepare and communicate to the National Secretariats and to the Board Annual Report of the activities of UMAP. The Board shall determine the period to be covered by these reports.

5.9 The General Fund and Trust Fund should be managed by the International Secretariat.

ARTICLE VI UMAP MEMBER SECRETARIATS

6.1 Each member country/territory shall set up a National Secretariat to be the chief point of contact in that member country/territory.

6.2 UMAP National Secretariats shall perform the following functions:

(a) To be responsible for the promotion and development of the UMAP Exchange Program within that member country/territory.

- (b) To cooperate with the International Secretariat and other National Secretariats in matters of common interests.
- (c) To coordinate UMAP participating universities within that member country/territory.

ARTICLE VII BUDGET

7.1 The budget shall be prepared in U.S. dollars and administered by the Board.

7.2 The fiscal year of UMAP shall commence January 1 and conclude December 31.

7.3 The Board shall approve and give final effect to the budget and to the apportionment of financial responsibility among the member countries/territories of UMAP.

7.4 The budget shall be labeled into 3 categories:

(a) The General Fund shall include the annual membership contributions from the Full Members. The scale of contributions shall be based on the formula as in Attachment 4 and payable in US dollars.

The General Fund shall be used to support the activities of UMAP according to the approval by the Board.

(b) The Trust Fund shall include the donations from member countries/territories. The donating country may reserve the rights to set up rules and regulations for the expenditure.

(c) Extra-budgetary Funds shall include the additional contributions from the members or facilities or other resources for UMAP purposes. Acceptance and use of all such contributions or facilities shall be subject to approval by the Board.

7.5 Expenditure in any category shall be confine to the disbursement guidelines as in Attachment 5 and be subject to approval by the Board.

Attachment 1

Principles of the UMAP Exchange Program

1. UMAP programs operate between individual accredited higher education institutions, or consortiums of institutions, on the basis of mutual acceptance of the appropriateness of national accreditation determinations. All public or private higher education institutions located in countries or territories participating in UMAP, and recognized in the participating home

country/territory and administrative region as nationally accredited, or as reputable providers of higher education courses, are eligible to participate in UMAP programs.

2. Definition of UMAP participation

2.1 Host and Home universities need to ensure credit recognition prior to exchange. Slight change will be allowed after starting class.

2.2 Use of UCTS as conversion scale for credit is necessary in principle.

2.3 Selection of courses and universities depends on each university.

2.4 Participating universities may include institutions that plan to make use of UCTS for their student exchange and have put into practice as a pilot project.

3. The Exchange Agreement

3.1 Universities that plan to join UMAP exchange programs are required to sign the “Pledge of Agreement on UMAP Multilateral Student Exchange Program” with the UMAP International Secretariat.

3.2 Most agreements negotiated under UMAP will be bilateral between institutions, but agreements between governments or systems or combinations of parties are also possible.

3.3 For recognition as a UMAP project an agreement should take proper account of the obligations of home and host institutions.

Home Institutions will:

- Select students and staff to participate
- Approve the study programs, including language courses/training, to be undertaken by participating staff and students
- Recognize work completed overseas for credit towards awards at the home institution
- Determine the level of financial support to be given to participating students and staff
- Provide appropriate preparatory courses for their students and staff prior to their departure

Host Institutions will:

- Provide the agreed study programs for participating staff and students
- Provide appropriate counseling and other support services to participants
- Assist participating students and staff in obtaining accommodation at reasonable cost
- Ensure that appropriate health care arrangements are made for participating staff and students
- Take action with the appropriate authorities in the host country to facilitate the issue of visas and compliance with other entry requirements

- Ensure appropriate access by participating students and staff to libraries, laboratories and similar facilities
- Provide any necessary language training

4. Funding arrangements

4.1 Institutions participating in UMAP need to reach agreement on funding arrangements.

4.2 Matters to be considered may include:

- whether students in receipt of scholarships, allowances etc. would be entitled to retain these benefits whilst studying in another country,
- whether institutions would be able to waive fees for students coming from overseas, on reciprocal terms,
- whether governments would fund the additional administrative costs which institutions would incur through participation in UMAP, the forms of additional financial support that governments would make available to subsidize the costs of staff and students studying overseas under UMAP, the extent to which private funding may be available to support participation in UMAP and whether institutions would be able to access development assistance funds to assist participation in UMAP.

Attachment 2「UMAP Organization Chart (UMAP組織図)」、

Attachment 3「Countries, Territories and Administrative Regions Eligible for UMAP

Membership (UMAP参加対象国・地域・行政区)」、及びAttachment 4「UMAP Scale of

Contribution (UMAP拠出金負担率)」、及びAttachment 5「Disbursement Guidelines of

UMAP Funds (UMAP各種会計の支出ガイドライン) は省略。

なお、組織の概要はP4、また参加対象国・地域はP7を参照。

V. UMAPの事業

1. UCTS (UMAP単位互換方式) の普及

UMAP 単位互換方式 (UMAP Credit Transfer Scheme : 以下、UCTS) とは、欧州諸国の学生交流事業 (ERASMUS) における欧州単位互換制度 (ECTS) をモデルにして開発し、1993年より UMAP事業の下、アジア・太平洋諸国間の学生交流を促進するために奨励してきた単位互換のための換算方式である。しかし、欧州型の換算方法は、アジアの単位数を欧州のシステムに変換し、またアジアの単位制度に戻すというプロセスを踏むため、手続きを複雑にしていたため、2013年5月に開催されたUMAP国際理事会で、アジア高等教育機関の単位制度に即した、新たなUCTSの導入が決定された。これにより多くのUMAP加盟国・地域並びに参加大学間では、1単位は1単位で単位互換できるようになった。

1. UCTSの目的

UCTSは、単位互換を伴う大学間の学生交流を促進するために開発され、UMAP加盟国・地域及び他の地域との間の、より活発な学生交流に活用されることを目指している。UCTSの概念は、各大学の既存の単位制度を統括または画一化しようとするものではない。むしろ、共通の指標を用いて受入・派遣大学間の異なる教育内容について、より詳細な情報を相互に提供し、各大学が他大学の異なる制度や規則を正確、かつ公平に測定し、理解できるように設計している。

2. UCTSの定義

UCTSは、アジア太平洋地域の異なる授業時間数や学習時間数に基づく1単位の価値を「等価」と見なし、UMAP参加大学間の単位互換は、受入大学の1単位を派遣大学においても1単位として認証することを可能にした。これにより、単位互換に関する換算が簡素化されることとなった。

1 UCTS=38～48学修時間数とする。また、その学修時間数には、13～16時間の授業時間数(academic hour)が含まれる。

1 UCTS=38 ～ 48学修時間数とする。また、その学修時間数には、13 ～ 16時間の授業時間数(academic hour)が含まれる。

3. UCTSを活用する利点

(1) 事務処理の迅速化: UCTSを活用することにより、特にアジア・太平洋諸国間の単位互換は、多くの場合1単位は1単位で単位互換できるようになり、学生交流が急激に増加しても、事務手続きが簡素化できる。また、今まで対応してこなかった国や制度の異なる海外の大学との単位互換であっ

でも、単位の換算に活用できる。

- (2) 単位互換の公平性の向上：UCTSによって相手校の単位制度についてより具体的に理解することができるようになり、単位互換がより公平に行われる。
- (3) 信頼関係の構築：UCTSをシステムチックに活用することにより、協定大学間に信頼関係が生まれ、より質の高い学生交流が促進できる。
- (4) 容易な履修計画作成：学生は、UCTSにより、在籍大学で互換できる単位数が正確にわかるため、留学先及び帰国後の履修計画が立てやすくなり、遅延なく卒業することができる。

※新たなUCTSの詳細については、UCTS User's Guide (<http://www.umap.org/ucts>) 参照。

2. UMAP参加大学

2004 (平成16) 年3月に開催された国際理事会において、UCTSを活用した学生交流を積極的に行うことを希望する大学情報を会員国で交換することが決定された。日本においては、UMAP日本国内委員会から、構成団体 (国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会) を通じて募ったところ、85大学がリストへの掲載を希望し、10月に開催された国際理事会において、各国関係者にリストが配付された。

その後、UMAP参加大学は順次追加され、2020 (令和2) 年1月現在、日本からは118大学がリストに掲載されており、UMAP日本国内委員会事務局からUMAPの各種事業、シンポジウム、説明会等の情報提供を行っている。

【UMAP参加大学の定義】

1. 学生の交流に先立ち、派遣先大学と在籍大学が単位認定を保証すること。授業開始後の若干の変更は認められる。
2. 原則として単位互換のためにUCTS (UMAP単位互換方式) を利用する。
3. 交流相手大学及び履修コースの選択は、各大学が決定する。
4. リストには、UCTSの試行的利用を計画する大学が含まれる。

なお、USCO (UMAP学生交流オンラインシステム: P19 参照) により学生の受入れ及び派遣を行うためには、UMAP国際事務局と*参加公約書 (UMAP Pledge of Agreement) を締結しなければならない。日本は、2016年から2020年まで、UMAP国際事務局のホスト国であり、東洋大学に国際事務局を設置している。2020 (令和2) 年1月現在、日本からは34学が締結済みである。

*参加公約書様式 <http://umap.org/prospective-members/>

*海外の参加大学は <http://umap.org/about/membership/> 参照。

参加大学一覧

1	国立	小樽商科大学(*)	41	公立	公立はこだて未来大学	81	私立	早稲田大学
2	国立	北見工業大学	42	公立	札幌市立大学	82	私立	富山国際大学(*)
3	国立	北海道大学	43	公立	青森県立保健大学	83	私立	国際大学
4	国立	室蘭工業大学	44	公立	秋田県立大学	84	私立	北陸大学
5	国立	岩手大学(*)	45	公立	国際教養大学(*)	85	私立	愛知大学
6	国立	東北大学	46	公立	都留文科大学	86	私立	愛知淑徳大学
7	国立	秋田大学	47	公立	公立小松大学(*)	87	私立	愛知東邦大学
8	国立	福島大学	48	公立	愛知県立大学(*)	88	私立	豊田工業大学
9	国立	筑波大学	49	公立	大阪府立大学	89	私立	名古屋外国語大学(*)
10	国立	宇都宮大学	50	公立	大阪市立大学	90	私立	南山大学(*)
11	国立	埼玉大学	51	公立	北九州市立大学	91	私立	名城大学(*)
12	国立	千葉大学(*)	52	私立	宮城学院女子大学	92	私立	京都外国語大学(*)
13	国立	電気通信大学	53	私立	尚絅学院大学(*)	93	私立	京都産業大学
14	国立	東京外国語大学	54	私立	国際医療福祉大学	94	私立	京都ノートルダム女子大学
15	国立	東京工業大学	55	私立	聖学院大学	95	私立	同志社大学
16	国立	東京農工大学	56	私立	西武文理大学	96	私立	立命館大学
17	国立	横浜国立大学	57	私立	神田外語大学	97	私立	大阪学院大学
18	国立	長岡技術科学大学	58	私立	青山学院大学	98	私立	大阪工業大学(*)
19	国立	新潟大学(*)	59	私立	桜美林大学(*)	99	私立	大阪商業大学
20	国立	金沢大学	60	私立	学習院大学(*)	100	私立	大阪女学院大学(*)
21	国立	福井大学(*)	61	私立	杏林大学(*)	101	私立	関西大学(*)
22	国立	岐阜大学	62	私立	慶應義塾大学	102	私立	関西外国語大学
23	国立	豊橋技術科学大学	63	私立	国際基督教大学	103	私立	桃山学院大学
24	国立	名古屋大学	64	私立	芝浦工業大学(*)	104	私立	関西国際大学(*)
25	国立	名古屋工業大学	65	私立	昭和女子大学(*)	105	私立	関西学院大学(*)
26	国立	京都教育大学	66	私立	上智大学(*)	106	私立	甲南大学
27	国立	京都工芸繊維大学	67	私立	白百合女子大学	107	私立	神戸芸術工科大学
28	国立	大阪大学	68	私立	創価大学	108	私立	園田学園女子大学
29	国立	神戸大学	69	私立	中央大学	109	私立	姫路獨協大学
30	国立	岡山大学	70	私立	帝京大学(*)	110	私立	流通科学大学
31	国立	広島大学(*)	71	私立	東海大学(*)	111	私立	吉備国際大学(*)
32	国立	香川大学(*)	72	私立	東京家政大学(*)	112	私立	比治山大学
33	国立	九州大学	73	私立	東京都市大学	113	私立	九州国際大学
34	国立	九州工業大学	74	私立	東洋大学(*)	114	私立	西南学院大学
35	国立	熊本大学	75	私立	日本大学	115	私立	福岡女学院大学
36	国立	宮崎大学	76	私立	文京学院大学	116	私立	熊本学園大学
37	国立	鹿児島大学	77	私立	法政大学	117	私立	立命館アジア太平洋大学
38	国立	琉球大学(*)	78	私立	武蔵大学(*)	118	私立	志學館大学
39	国立	総合研究大学院大学	79	私立	明治大学			
40	国立	北陸先端科学技術大学院大学	80	私立	目白大学			

(*) 参加公約書 (Pledge of Agreement) を締結した大学

3. UMAP交換留学プログラム

UMAPは、アジア太平洋域内の学生交流を促進するため、以下の3種類のUMAP交換留学プログラムを実施しており、単位互換にはUCTSの利用が推奨されている。

なお、プログラムへの参加には、UMAP国際事務局と参加公約書 (UMAP Pledge of Agreement) の締結が必要。(*参加公約書様式 <http://umap.org/prospective-members>)

●プログラムA

“UMAP Multilateral Student Exchange Program” (略称 UME)

UMAP多大学間交換留学プログラム：

- ・ 秋季または春季のセメスターから始まる1または2セメスターの留学
- ・ 受入大学は、授業料を免除するとともに、適切かつ廉価な住居を提供するか取得を支援する
- ・ プログラムに登録した参加大学は、各セメスター2名の学生の派遣・受入を行う。なお、2名を上回る学生を受入れた場合は、翌学期以降に超過人数相当数の学生の追加派遣が可能。

●プログラムB

“UMAP Bilateral Student Exchange Program” (略称 UBE)

UMAP二大学間交換留学プログラム

- ・ 3名以上の学生の交換を希望する参加大学二校の間で行う、秋季または春季のセメスターから始まる1または2セメスターの留学 (授業料の減免については、当該二大学の間で取り決める)
- ・ 追加のMOUを締結するか、参加公約書 (UMAP Pledge of Agreement) の枠内で行うかは、当事者間で決定する。
- ・ 授業料を免除せず有償で交換留学を受入れる場合にも本プログラムを利用できる

●プログラムC

“UMAP Student Exchange Special Courses” (略称 USC)

- ・ 1～8週間程度の短期プログラム
- ・ プログラム提供大学が受講料を設定する

UMAP交換留学プログラムへの登録から派遣先決定までの手続きは、UMAP学生交流オンラインシステム(USCO)を利用して行われる。

UMAP学生交流オンラインシステム (USCO)

UMAPは、2008 (平成20) 年度より、独自に開発したオンライン登録・プレースメント・システム (UMAP Student Connection Online: USCO) を活用した学生交流プログラムを開始した。USCOは、さらに利便性を高めるために再構築され、2018 (平成30年) 8月に新システムの運用を開始した。

URL : <http://umap.org/usco>

4. その他のプログラム

● UMAPサマープログラム (UMAP Summer Program)

2016 (平成28) 年より、各正会員国がホスト国となり、UMAP参加大学の協力を得て、テーマを設定した夏季短期プログラムを提供している。ホスト国は、2016年フィリピン、2017年日本 (東洋大学及び新潟大学で実施)、2018年タイ、2019年台湾、2020年マレーシアの予定。原則UMAP参加大学として登録している大学に所属する学生の参加が可能。

● UMAP研究ネット (UMAP Research Net)

2か国2人以上のUMAP参加公約書締結大学教員等により学生交流及び国際教育に関連する諸課題の研究を支援し、教員等のネットワーク構築と学生の流動性を促進するプログラム。

● UMAP-COIL Joint Honors Program

関西大学と連携したUMAP参加国・地域の大学生を対象としたCOIL: Collaborative Online International Learning (オンライン国際共同学習) 型の国際的・双方向的な教育プログラムで、国内にいながら海外大学の学生と共同して学習することができ、修了者にはUCTS単位が付与される。

(2019年に第1回プログラムを実施)

● UMAP-COIL Advanced Placement (AP) Program

高校生がUMAP参加国・地域の大学で開講する2週間程度のCOIL型教育プログラムに参加し、修了者に付与されるUCTS単位は、大学入学後に単位認定される。(2021年に開始予定)



U M A P
University Mobility in Asia and the Pacific

<http://www.umap.org>

UMAP日本国内委員会事務局

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部内

Tel : 03-5520-6012 Fax : 03-5520-6013

E-mail : umap@jasso.go.jp

〔2020年2月〕